

ドアクローザ取扱説明書

御施主様用

お願い

1.取付をされる業者の皆さまへ

本書は必ず御施主様または御入居者様へお渡しください。

2.御施主様へ

当社製品をお買い上げいただきありがとうございました。

製品を正しくご使用いただくために、この「ドアクローザ取扱説明書」をよくお読みください。

いつでもお読みになれるように大切に保管してください。

1.ドアクローザの機能説明とお願い

- この製品は、ドアを自動的に閉じるためのもので、油圧によりゆっくり閉じる構造になっています。季節の温度変化等により、ドアの閉じる速度が変わることがあり、極端に速度が速くなると怪我をすることがあります。ドアの閉じる速度は、調整弁によりコントロールすることができますので、裏面に記載した方法で調整してください。
- 本体から油が漏れたり、部品が破損した場合は速やかに施工業者または弊社に修理、交換依頼をしてください。放置しておくと、閉扉スピードのコントロールが効かなくなり事故につながるおそれがあります。
- ドアクローザは分解、改造しないでください。中の部品が飛び出して思わぬ怪我をしたり、正しく組み立て直す事が出来なくなります。

2.お手入れ方法

- 本体及びアームなどの取付ネジにゆるみが生じていないか時々点検してください。ゆるんでいた場合はネジを締め直してください。
- 腐食予防のために本体及びアームは時々掃除をしてください。また、結露が生じた場合は乾いた布で拭いてください。

3.異常を感じられた際の対処方法（調整が難しい場合は、施工業者または弊社に問い合わせをしてください。）

現象	考えられる原因	点検箇所	対処方法
ドアの閉じる速度が徐々に速く又は遅くなった	季節の温度変化など	速度調整弁	速度調整方法を参照願います
ドアの閉じる速度が急に速くなった	油漏れ	ドアクローザ本体	施工業者または弊社に修理依頼願います
ドアの閉じる速度が急に遅くなった	油の流れが詰まっている	速度調整弁	速度調整方法を参照願います
閉じる際「バタン」と大きな音がするようになった	ネジの緩み	取付ネジ	ネジを締め付けてください
	油漏れ	ドアクローザ本体	施工業者または弊社に修理依頼願います
	ラッチング機能が強すぎる	ラッチング調整弁	ラッチング調整弁の調整方法を参照願います
ドアが所定の開放位置で止まらなくなった(ストップ付)	ストップネジの緩み	ストップ装置	ストップ角度調整方法を参照願います
ドアがスムーズに閉まらなくなったり異音が生じるようになった	ネジの緩み	取付ネジ	ネジを締め付けてください
	1・2速のバランスが悪い	速度調整弁	速度調整方法を参照願います

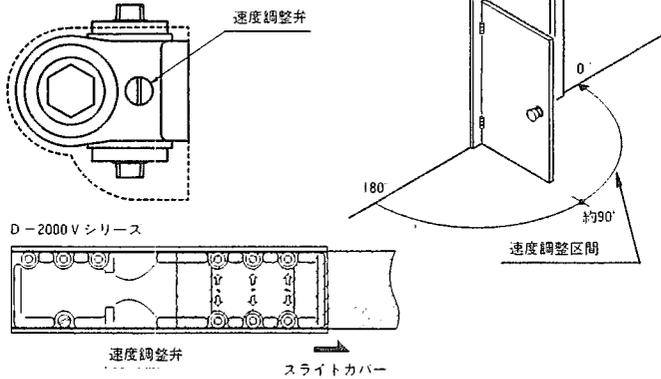
リヨービ株式会社

札幌 〒062-0937 札幌市豊平区平岸7条14-3-48 ☎(011)811-8232 名古屋 〒468-0034 名古屋市中区久方1-145-1 ☎(052)807-1643
 仙台 〒983-0034 仙台市宮城野区扇町4-2-38 ☎(022)237-6201 大阪 〒569-1135 大阪府高槻市今城町24-12 ☎(0726)85-1113
 東京 〒114-8518 東京都北区豊島5-2-8 ☎(03)3927-5533 広島 〒736-0082 広島市安芸区船越南3-7-29 ☎(082)823-0028
 富山 〒939-8214 富山市黒崎2-3-2 ☎(0764)93-2225 福岡 〒811-2305 福岡市外粕屋町袖須107-1 ☎(092)623-5000

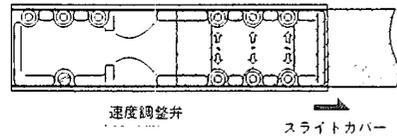
ドア閉じ速度（スピード）調整方法 （調整は、ドアクローザの速度調整弁で行います。）

① 1バルブタイプ（A）

S-101Pシリーズ



D-2000Vシリーズ

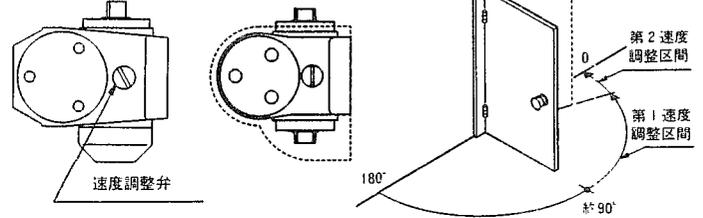


- 右に回すと閉じ速度は遅くなります。
- 左に回すと閉じ速度は速くなります。

② 1バルブタイプ（B）

80シリーズ(#5)

S-102Pシリーズ



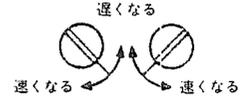
速度調整は、第1速度・第2速度の順に行ってください。

1) 第1速度調整区間

- 右に回すと閉じ速度は遅くなります。
- 左に回すと閉じ速度は速くなります。

2) 第2速度調整区間

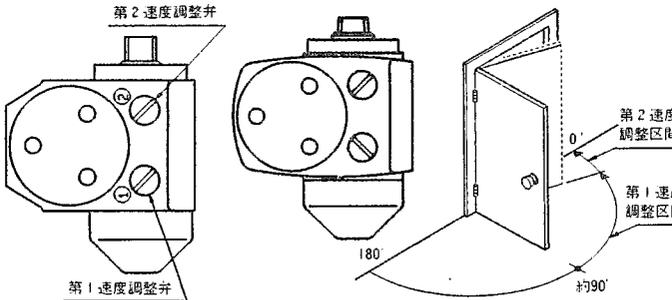
取り付け状態で弁の回転を90°の範囲で調整して下さい。



③ 2バルブタイプ

80シリーズ

500シリーズ、702Pシリーズ



速度調整は、第1速度・第2速度の順に行ってください。
第1速度・第2速度共に

- 右に回すと閉じ速度は遅くなります。
- 左に回すと閉じ速度は速くなります。

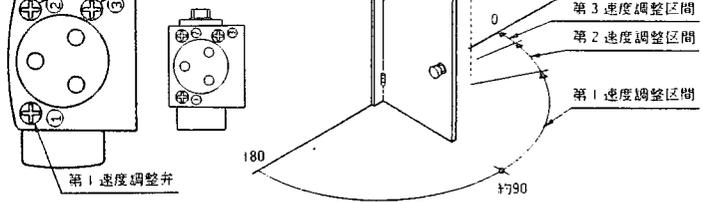
④ 3バルブタイプ

20シリーズ

第2速度調整弁

第3速度調整弁

1000シリーズ



速度調整は、第1速度・第2速度・第3速度（ラッチングアクション）の順に行ってください。

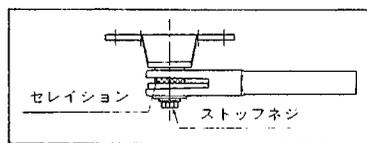
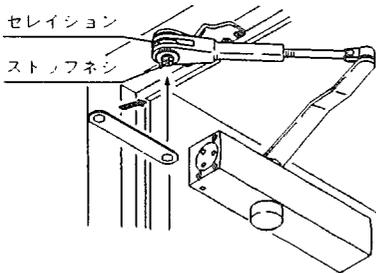
- 第1速度・第2速度 右に回すと閉じ速度は遅くなります。
- ・第3速度共に 左に回すと閉じ速度は速くなります。

・ラッチングスピードはドア閉鎖位置手前2°まで閉じた時点でドアを素早く閉める機能です。不要の時は全閉にして下さい。第2速度より遅くはなりません。

ストップ装置の調整

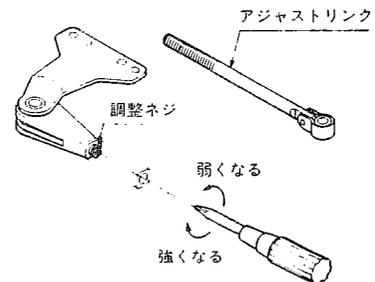
ストップ角度の調整

- ドアをストップさせる角度まで開き、ストップネジをスパナできつく締め付けます。締め付ける時は、ストップ装置のセレクション部のかみ合いを確認してください。かみ合いの悪い場合は、ドアを少しゆすりながら、ストップネジを締めてください。次にドアを閉めて、もう一度ストップネジを締め付けてください。ストップ装置の締め付け力が不足していると、ストップ装置の故障の原因となります。



ストップ保持力の調整

- あらかじめストップの強さは、調整済みです。調整が必要な場合は、ストップ装置にねじ込まれているアジャストリンクを外し、調整ネジをドライバーで回します。右に回すとストップ力は強くなります。左に回すとストップ力は弱くなります。
※調整ネジは左右1回転以上回さないでください。故障の原因になります。



*1 BLDアークローザ（BL-I型・BL-II型）は、BL部品認定基準の構造として、『特殊な工具以外では閉じ速度を調整できない構造とする』として住宅管理の専門家以外には操作できないようにしてあります。又、機能性に『常温時無風状態において、ドアを90°迄開き、ラッチング完了迄5～8秒であること。』を規定してあります。これより速く閉じる場合は危険ですので、管理事務所・施工業者又は、弊社に修正依頼をして下さい。